

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2015-127973(P2015-127973A)
 【公開日】平成27年7月9日(2015.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報2015-044
 【出願番号】特願2015-41067(P2015-41067)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/00 (2012.01)

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 10/00 1 4 0

G 0 6 Q 10/10 1 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月11日(2015.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子帳票を管理する電子帳票サーバであって、

複数の前記電子帳票に対する処理を続けて実行するためのテンプレートとして、実行する前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを記憶する記憶手段と

、
 前記記憶手段により前記テンプレートとして記憶された前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得した前記複数の電子帳票の帳票識別情報に対応する電子帳票それぞれに対して、前記取得手段により取得した前記電子帳票の帳票識別情報に対応する処理内容の処理を続けて実行する処理実行手段と
 を備えることを特徴とする電子帳票サーバ。

【請求項 2】

前記電子帳票が前記電子帳票サーバに登録された場合に、前記記憶手段により記憶された前記テンプレートに当該電子帳票の帳票識別情報が含まれるか否かを判定する電子帳票判定手段と
 を更に備え、

前記処理実行手段は、

前記電子帳票判定手段により前記テンプレートに当該電子帳票の帳票識別情報が含まれると判定された場合に、前記記憶手段により当該テンプレートとして記憶された処理内容の処理を続けて実行すること
 を特徴とする請求項 1 に記載の電子帳票サーバ。

【請求項 3】

前記記憶手段は、前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とに対応づけて、処理内容の処理を実行する処理順序を記憶し、

前記取得手段は、前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容と当該処理順序とを取得し、

前記処理実行手段は、前記取得手段により取得した処理順序に従って、前記取得手段に

より取得した前記複数の電子帳票の帳票識別情報に対応する電子帳票それぞれに対して、前記取得手段により取得した処理内容の処理を続けて実行することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子帳票サーバ。

【請求項 4】

前記テンプレートとして登録すべく、ユーザにより指定された複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを受け付ける受付手段を更に備え、

前記記憶手段は、前記複数の電子帳票に対する処理を続けて実行するためのテンプレートとして、前記受付手段により受け付けた複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを記憶すること

を特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の電子帳票サーバ。

【請求項 5】

電子帳票を管理し、複数の前記電子帳票に対する処理を続けて実行するためのテンプレートとして、実行する前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを記憶する記憶手段を備える電子帳票サーバにおける処理方法であって、

前記電子帳票サーバが、

前記記憶手段により前記テンプレートとして記憶された前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得した前記複数の電子帳票の帳票識別情報に対応する電子帳票それぞれに対して、前記取得ステップにより取得した前記電子帳票の帳票識別情報に対応する処理内容の処理を続けて実行する処理実行ステップとを実行することを特徴とする処理方法。

【請求項 6】

電子帳票を管理し、複数の前記電子帳票に対する処理を続けて実行するためのテンプレートとして、実行する前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを記憶する記憶手段を備える電子帳票サーバで実行可能なプログラムであって、

前記電子帳票サーバを、

前記記憶手段により前記テンプレートとして記憶された前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得した前記複数の電子帳票の帳票識別情報に対応する電子帳票それぞれに対して、前記取得手段により取得した前記電子帳票の帳票識別情報に対応する処理内容の処理を続けて実行する処理実行手段として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の目的を達成するために、本発明は、テンプレートを用いることで、帳票における作業の効率を上げる仕組みを提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的を達成するために、電子帳票を管理する電子帳票サーバであって、複数の前記電子帳票に対する処理を続けて実行するためのテンプレートとして、実行する前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを記憶する記憶手段と、前記記

憶手段により前記テンプレートとして記憶された前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを取得する取得手段と、前記取得手段により取得した前記複数の電子帳票の帳票識別情報に対応する電子帳票それぞれに対して、前記取得手段により取得した前記電子帳票の帳票識別情報に対応する処理内容の処理を続けて実行する処理実行手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、前記電子帳票が前記電子帳票サーバに登録された場合に、前記記憶手段により記憶された前記テンプレートに当該電子帳票の帳票識別情報が含まれるか否かを判定する電子帳票判定手段とを更に備え、前記処理実行手段は、前記電子帳票判定手段により前記テンプレートに当該電子帳票の帳票識別情報が含まれると判定された場合に、前記記憶手段により当該テンプレートとして記憶された処理内容の処理を続けて実行することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

また、前記記憶手段は、前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とに対応づけて、処理内容の処理を実行する処理順序を記憶し、前記取得手段は、前記複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容と当該処理順序とを取得し、前記処理実行手段は、前記取得手段により取得した処理順序に従って、前記取得手段により取得した前記複数の電子帳票の帳票識別情報に対応する電子帳票それぞれに対して、前記取得手段により取得した処理内容の処理を続けて実行することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

また、前記テンプレートとして登録すべく、ユーザにより指定された複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを受け付ける受付手段を更に備え、前記記憶手段は、前記複数の電子帳票に対する処理を続けて実行するためのテンプレートとして、前記受付手段により受け付けた複数の電子帳票の帳票識別情報と当該電子帳票の処理内容とを記憶することを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明によれば、テンプレートを用いることで、帳票における作業の効率を上げることができる。